

とうきょうすくわくプログラム活動報告

●クラス : ひまわり(3, 4, 5歳児)

●日時 : 令和6年4月~6月

1. 活動テーマ

*テーマ 「自然」

*テーマの設定理由 : 戸外に出掛けの際には、自然物に興味を示し観察したり、触れてみたり、採取したりする姿が多く見られ、その興味関心から1年を通して自然物について観察・研究をしていく事となった。

2. 活動スケジュール : 近くの公園で自然物を探す。

3. 活動の為に準備した素材や道具、環境設定 : ビニール袋・虫かご・カメラ

4. 探究活動の実践

*活動内容 : 近くの公園に行き自然物に興味を示せるよう保育者の声掛けで春の自然物探しが始まった。
様々な物に興味を示し、捕まえる事や採取をして興味関心を広げていった。

*活動中の子どもの姿・声・子ども同士や保育者との関わり



ダンゴ虫

遊歩道の木幹にはダンゴ虫などがいることを発見。

子ども「先生来て！ダンゴムシがいるよ」と知らせる。

保育者「ほんとだ！ここはダンゴムシの巣なのかな？」

すると虫に詳しい子が「これはダンゴ虫じゃなくてワラジムシかも」という発言に驚く子もいた。

てんとう虫

てんとう虫がいる事に気付くと、捕まえて服の上で観察している様子。

のびる

のびるを集めて臭いを嗅いだ子は「ちょっとくさい」

とのびる独特の匂いに気付く姿が見られた。

子ども「袋ちょうだい」と渡すと他の子もその様子を見て採取する事を楽しんでいたのでそこから毎日のようにのびる集めを楽しむ。

クローバー

クローバーを探していると「見て！四葉のクローバー見つけた」と発見した。

5. 振り返り : 自然物を通して友達との関りが増え、一緒に共感したり、発見したりと遊びが発展していく姿が見られた。袋に入れて採取する事で主体的に行う姿が見られ、より自然物に興味を示す姿が見られた。この興味を次に繋げていきたい。

とうきょうすくわくプログラム活動報告

●クラス : ひまわり(3, 4, 5歳児)

●日時 : 令和6年7月~9月

1. 活動テーマ

*テーマ 「自然」

*テーマの設定理由 : 戸外に出掛けの際には、自然物に興味を示し観察したり、触れてみたり、採取りしたりする姿が多く見られ、その興味関心から

1年を通して自然物について観察・研究をしていく事となった。

2. 活動スケジュール : ひまわり探検隊として動植物探しを行う。

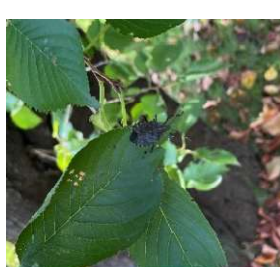
グループごとに観察を行う

3. 活動の為に準備した素材や道具、環境設定 : ビニール袋・虫かご・旗・紙・ペン・カメラ

4. 探究活動の実践

*活動内容 : 春の子ども達の興味関心から3チームに分かれての自然物探検を行った。異年齢のチームで年長児が主体となって先導し、様々な虫や植物などを発見する事ができ、各チームで何個見つけたか発表した。

*活動中の子どもの姿・声・子ども同士や保育者との関わり



ひまわり探検隊として3チームに分かれて動植物探しを行った。

子ども (年長児) 「ついてきてね」とリーダーシップを発揮。

(年中・年少) 「むしいるかな？」と主体的に探す。

子ども 「みんな！なんかいたよ」とカメムシを発見した。

「カメムシは臭いにおいを出すんだよ」と知っている子が言うと少し距離をとりつつ観察していた。

トンボが飛んでいるのを発見すると年長児が指を高く上げていた。

子ども 「とんぼはこうすると指に止まるんだよ」と言うと周りの子ども真似をして指を高くあげていた。

各グループ探検する場所が違いその他にも【アリ・蜂・ミミズ・】など様々な物を発見する事ができた。

5. 振り返り : 3チームに分かれて探検を行う事でより気持ちが高まり、動植物を探す姿が見られた。また年長児に役割を与えた事で、年上としての自覚を持ちながら年下の子と散策をすることができた。各グループによって見る視点が違ったため、発表の際に「こんなむしいたの？」と驚く姿が見られた。虫の特性を理解しトンボを指先で捕まえようとする姿や、「カメムシはくさいんだよ」と言うグループもあった。春と違い虫の多さにも気づくことができた。

とうきょうすくわくプログラム活動報告

●クラス : ひまわり(3, 4, 5歳児)

●日時 : 令和6年10月~12月

1. 活動テーマ

*テーマ 「自然」

*テーマの設定理由 : 戸外に出掛けた際には、自然物に興味を示し観察したり、触れてみたり、採取りしたりする姿が多く見られ、その興味関心から

1年を通して自然物について観察・研究をしていく事となった。

2. 活動スケジュール : 公園で虫を見つける

見つけた虫を細部まで観察する。

3. 活動の為に準備した素材や道具、環境設定 : ビニール袋・虫かご・虫眼鏡・カメラ・顕微鏡

4. 探究活動の実践

*活動内容 : 虫メガネや顕微鏡を持って行き見つけたものを詳しく観察する。

*活動中の子どもの姿・声・子ども同士や保育者との関わり



虫眼鏡を持って散歩に出かけた。目に映る物を虫眼鏡で覗き観察をしていた。

子ども

「この花黄色いね」「先生見て！ここにもあった」と見つけやすい植物を見つけ喜んでいました。

子ども（顕微鏡をのぞく）

「うわ口がある！こんな形なんだね」とバッタの様子に興味深々だった。

子ども

「ダンゴムシってこれきっとオスだね」「保育園に持って帰りたい」という声から虫かごに入れて持って帰る事にした。

「お水を用意してあげよう」「何食べるかな」と夕方まで観察を行った。

保育者みんなが帰る時間が近づき「このダンゴムシどうしようか？」と問いかけた。

子ども「パパとママに会いたいんじゃない？」という意見がありテラスに逃がす事にした。

5.振り返り : 虫眼鏡を持って散歩に出かけた。春夏は見つけて捕まえたり、虫かごに入れて楽しんでいましたが、虫眼鏡を持つ事で、観察をしようとする姿が見られた。植物では細かい形にも観察し、「つぶつぶがあるね」と発見していた。バッタやダンゴムシでは口の形や、足の本数などを数える姿が見られた。園にバッタを持ち帰り観察をしたり、ペットボトルのキャップに水を入れたりと1日飼育をすることにより、興味関心が深まった

とうきょうすくわくプログラム活動報告

●クラス：ひまわり(3, 4, 5 歳児)

●日時：令和7年1月～2月

1. 活動テーマ

＊テーマ 「自然」

＊テーマの設定理由：戸外に出掛けた際には、自然物に興味を示し観察したり、触れてみたり、採取したりする姿が多く見られ、その興味関心から1年を通して自然物について観察・研究をしていく事となった。

2. 活動スケジュール：顕微鏡で拡大し意見交換。図鑑で調べる。まとめて発表と展示をする。

3. 活動の為に準備した素材や道具、環境設定：カメラ・顕微鏡・図鑑・紙・ペン・クレヨン・スクリーン・マット 4 枚
プロジェクター・書画カメラ

4. 探究活動の実践

＊活動内容：一年間の自然のまとめをする。

＊活動中の子どもの姿・声・子ども同士や保育者との関わり



顕微鏡で撮影した虫を後日スクリーンで拡大し全員で気づいたことの発表を行った。

子ども「足が6本」「何かくわえてる」「丸くなってる」「毛が生えてる」とたくさんの疑問が上がった。

図鑑を用いて気になる事を調べてまとめを行った。

子ども「ダンゴムシが丸まるのは身を守るためなんだってさ」
「アリは触覚で仲間か敵か見分けるんだね！」

その後実際に手の本数や調べた事などを意識しながら紙に書き、まとめて行う事で自分たちの図鑑ができ喜び姿が見られた。

年少児・年中児は画用紙でテントウムシとバッタの絵を描き調べた事を意識しながら足の数や形など描いていた。

後日登園時に保護者の方にも見てもらえるよう飾っておくと、

子ども「見て調べたよ」と1つ1つ説明する姿が見られた。

5.振り返り：1年を通して自然をテーマに過ごしていた。春から様々な動植物に興味を示し、戸外に出掛けた際に探す姿が見られた。その興味関心がより深まるよう環境を整える事で自分たちで様々な気づきをすることができ、顕微鏡や図鑑がある事により詳しく観察をし新たな疑問が生まれ興味関心を深める事ができた。4グループの少人数に分かれて研究を行う事で、ひとり一人の疑問に寄り添い探求していく事ができた。また研究を保護者の方と共有することで、子ども達自らの言葉で伝えよりすくわくプログラムを深める事ができた。